

令和 7 年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和 8 年 3 月 5 日

札幌市立 手稲東中学校

1 今年度の重点目標

生徒の「自律」を目指す

2 本年度の経営方針

多様性を尊重し、自走する教職員集団への挑戦

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	重点項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
			達成状況	改善方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
目指す子ども像	学(生) 18	物事を「自分で考え判断し、決めて行動する」ようにできたか。	B	昨年度に比べて肯定的な回答が92%から93%に微増した。ただし「よくあてはまる」と回答した生徒が46%から37%に下がった。取り組みを継続する。	A	A
学校関係者評価委員会による意見		自己肯定感、自己有用感が少しずつ高まってきていると思われるので、今後も、生徒に自信をもたせ、互いに認め合い、高め合っていく生徒、「自律」する生徒を育成してほしいです。				

人間尊重の教育	学(生)12, 13	不安や悩み、困りごとについて先生方に相談したか。	A	「相談しやすい先生がいますか」の回答で、否定的な回答をした生徒の割合が減っている。今後も生徒の立場に立って、相談しやすい環境を整えていく。	A	A
「学ぶ力」の育成	学(生) 1, 2, 3, 4, 5	学習に疑問や課題をもち計画を立てて取り組んでいるか。	B	昨年度と比べ「あてはまらない」と回答した生徒の割合が微減し、改善の方向に進んでいる。ただし「よくあてはまる」と回答した生徒も減っている。特に計画的に学習に取り組めるように働きかける。	A	A
「豊かな心」の育成	学(生) 14, 16, 17/市 5	自信をもって、自分の気持ちや言動をコントロールし、人の役に立ちたいと考えているか。	A	自分の気持ちや言葉、行動をコントロールしようとしている生徒の割合が若干増えている。他者への思いやりの現れと捉え、コントロールの必要性を説いていく。	A	A
「健やかな体」の育成	市30, 31	自分の健康状態を知って、健康のことを考えて生活しているか。	A	「健康のために、自分には何が必要かを考えて生活しようとしている」生徒の割合が82%と昨年度と同様に高い。喫煙防止教室や性教育講演会を通じて、さらに意識を高めていく。	A	A
いじめ対策	振り返りアンケート	いじめ対策を適切に行っているか。	A	札幌市の方針に基づいて、いじめ対策委員会を月1回行い、毎月行っている生徒自身の振り返りアンケートをもとに、教育相談の機会を充実させることができた。今後も継続し、生徒の見守りと早期発見・対応に努める。	A	A
一貫性・連続性のある教育(小中一貫した教育)		小中一貫した教育を行っているか。	A	札幌市の方針に基づいて、いじめ対策委員会を月1回行い、毎月行っている生徒自身の振り返りアンケートをもとに、教育相談の機会を充実させることができた。今後も継続し、生徒の見守りと早期発見・対応に努める。	A	A
学校関係者評価委員会による意見		子どもの声に耳を傾け、認めてあげることが取組から分かります。改善点はあるが、学校で伸び伸びと元気に過ごしていることに感謝します。今後も、安心・安全な学校生活を子どもたちが送ることが出来るように、家庭や地域と協力して、様々な活動を推進していただきたいです。				

学校独自に 設定する分野	教職員の働き方改革の推進	A	ICTの活用やデータ管理の一元化を行い、業務推進の効率化を図る。丁寧な情報共有をもとに、あらゆる業務の協働関係を構築する。	A	A
	教育課程の適切な編成と推進	B	行事の時期や、準備期間の見直しを図った。生徒のより主体的な取り組みを促す。	A	A
	自治的な活動の推進	A	生徒会を中心に子どもたちの声を聞くことで、委員会活動等を活性化させることができた。さらに推進していく。	A	A
学校関係者評価委員会 による意見		今年は、自治的な活動の推進として、パートナー校2校の6年生と中学校の生徒会役員がオンライン会議をもち、「挨拶を強化する」という重点目標を設定してつながりました。今後は、その取組をどのように活性化していくかが課題なので、よりよい方向を目指して活動を充実させていってほしいです。			